

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	03 健康と食育の充実								
開始年度	平成19年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小・中学校児童生徒等

手段（事務事業の内容、やり方）

給食用食器の更新。
H19年度は小皿及び箸を小中学校同時に更新。
H20年度は中皿を高強度磁器食器に更新。
食器検討委員会の開催。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安心、安全で使いやすく、且つ、綺麗な食器で喫食することにより、食事の楽しさ等を通じ健康維持と豊かな心を育成する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,441	9,274
対象指標2						
活動指標1	食器更新数	個	2,700	13,600	17,000	0
活動指標2						
成果指標1	残食率	%	19.6	19.9	19	—
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	0	0	1,563	1,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費のみ

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 ・学校給食法・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 給食を喫食するために必要な皿及び箸の更新。 安心、安全で使いやすく、綺麗な食器を通じ、食事の楽しさ喜びを知り、健康面での貢献も多大である。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 安心、安全で使いやすい食器を使用することで、食事の楽しさの一環を担っている。食器破損数が減少した場合、食器の扱いが慎重になったとも考えられ、また、残食率は微減してはいるが他の要因（個人的嗜好など）も影響していると思われ一概に成果を判断することは難しい。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 平成25年度末に給食用箸を更新したことで、児童生徒に安心して安全な給食を供給できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 給食を安全に喫食するために最低限必要な皿及び箸の更新である。